

動き出しています！
まなや
学び舎プログラム

まちづくり実践プロジェクト

「学び」を活かしたまちづくりの取り組みを、市民が企画・提案して実施する「まちづくり実践プロジェクト」は今年度スタートした新しい事業です。初のプレゼンテーションには、8グループが応募し、それぞれがまちづくりへの思いを込めた提案を発表しました。

選考の結果、5グループの企画が委託事業として実施されることになりました。そのグループと企画についてご紹介します。(各事業については随時**広報きしわだ**で参加者を募集しております)



今回の企画のひとつには、ひとり暮らしの障害者の自宅を公開して、障害者が大震災に遭ったという想定で行うコミュニケーションを取り入れています。

「いこら」では、どんな障害があっても地域で当たり前に生活することを目的にヘルパー派遣や、生活の相談に応じたり、地域の方とさまざまな取り組みをしています。



NPO法人 自立生活センター・いこら
障害者発☆防災力アップセミナー

60歳以上の男性が集まって、歌うことを通して趣味づくり、仲間づくりができる場を企画しました。



代表 岡崎さん

ハーベスト・コール きしわだ
60歳から楽しむ歌の世界



理事 喜多田さん

たいです。防災士や、東日本大震災のボランティアに行かれた方の意見も取り入れ、よりリアルなものにしたいと考えています。

歌を通じて文化にも親しみながら、ここを出発点に、参加者がそれぞれ新たな方向に踏み出して行けたらよいと思います。

日本の美しい童謡や唱歌、歌謡などを歌いながら、ハーモニイさせたり、声の出し方や楽譜の読み方、その曲の背景などを学んでいく…。

初心者歓迎の男性限定で参加者を募集します。男性が活動できる場のすそ野を広げて、元気な男性グループが増えるきっかけにしたい。仕事をリタイアしてから、趣味が見つからない男性はたくさんおられるのでは？そんな人にぜひ来てほしいです。

「虹の環」は「ごみになる前に再利用を」を合言葉に、3R(※)の知恵と工夫を地域に広げる活動をしています。例えば、環境イベントなどで不用品を使ったおもちゃ作りの指導をすることもあります。今回は、身近な環境問題を



代表 竹中さん

生活廃棄物有効利用研究会
虹の環
楽しく、おもしろい、やってみたい環境学習

「友垣」は手縫いを中心とした幅広い「手作り」活動をしてながら、ひきこもりの若者との交流や、被災地大船渡市の仮設住宅に手作りキットを贈る支援などもしています。

「麦踏みファンズ」は、麦を通して自然環境を考えるほか、種を蒔いて育てた麦を使って麦藁などの麦わら細工やお菓子などを作る活動もしています。

社会福祉協議会に登録している2つのボランティアグループ「友垣」と「麦踏みファンズ」が共同で講座を企画しました。



※3R
Reduce:リデュース(減量)
Reuse:リユース(再利用)
Recycle:リサイクル(再資源化)

軸にして講座を考えました。日常生活から出た不用品を再利用したクラフトや、買い物から環境を考える体験ゲーム、地球温暖化防止や省エネ・ごみの減らし方などについての講演など、8つの講座を企画しています。



家族で参加して、岸和田育ちの麦を使った麦茶を飲みながら、楽しく学んでいただきたいです。

今回は「友垣」が布とワイヤーを使った麦のクラフトを参加者と一緒に作り「麦踏みファンズ」が麦を切り口に自然と環境についてのお話をします。



代表 稲富さん



代表理事 長谷川さん

「子育て支援傾聴ボランティア養成講座」を全5回行います。今の子育て世代の心理や悩みとともに、岸和田市の子育て支援の現状にも触れ、傾聴の心構えから方法までを学べる講座にしたいです。

「子育て支援傾聴ボランティア養成講座」を全5回行います。今の子育て世代の心理や悩みとともに、岸和田市の子育て支援の現状にも触れ、傾聴の心構えから方法までを学べる講座にしたいです。

「子育て傾聴」とは、子育ての悩みに寄り添い聴くこと。行き詰まっている時、誰かにそうしてもらおうことで、ひとりぼっちではないことや、子育ての楽しさを実感し、自信を取り戻すことができるのではないのでしょうか。それを通して自己肯定感を回復してもらいたいと思います。

子どもや、子育てに関わる大人の居場所づくりなどを行っている団体です。今回は、児童虐待を防ぐために、虐待をしてしまう大人の心を助けたいと「子育て傾聴」への取り組みを考えました。



NPO法人 ここからKit
あなたの声が聴きたくて
～心の声に耳を傾ける～